

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【公表番号】特表2016-531846(P2016-531846A)

【公表日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2016-059

【出願番号】特願2016-515427(P2016-515427)

【国際特許分類】

C 0 7 C 311/08 (2006.01)

C 0 7 C 233/54 (2006.01)

C 0 7 C 275/42 (2006.01)

C 0 7 C 307/10 (2006.01)

C 0 7 C 271/28 (2006.01)

C 0 7 C 261/04 (2006.01)

C 0 7 C 237/20 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

A 6 1 K 31/424 (2006.01)

A 6 1 K 31/428 (2006.01)

A 6 1 K 31/4184 (2006.01)

A 6 1 K 31/4704 (2006.01)

A 6 1 K 31/416 (2006.01)

A 6 1 K 31/4192 (2006.01)

A 6 1 K 31/4418 (2006.01)

A 6 1 K 31/18 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 K 31/17 (2006.01)

A 6 1 K 31/27 (2006.01)

A 6 1 K 31/277 (2006.01)

A 6 1 K 31/165 (2006.01)

C 0 7 D 209/08 (2006.01)

C 0 7 D 209/34 (2006.01)

C 0 7 D 263/58 (2006.01)

C 0 7 D 277/68 (2006.01)

C 0 7 D 235/26 (2006.01)

C 0 7 D 215/227 (2006.01)

C 0 7 D 235/10 (2006.01)

C 0 7 D 235/08 (2006.01)

C 0 7 D 231/56 (2006.01)

C 0 7 D 249/18 (2006.01)

C 0 7 D 213/73 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 311/08 C S P

C 0 7 C 233/54

C 0 7 C 275/42

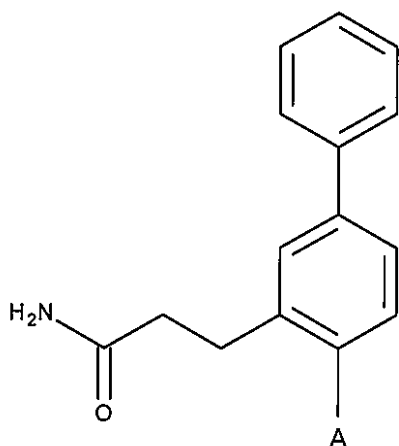
C 0 7 C 307/10

C 0 7 C	271/28	
C 0 7 C	261/04	
C 0 7 C	237/20	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 K	31/404	
A 6 1 K	31/424	
A 6 1 K	31/428	
A 6 1 K	31/4184	
A 6 1 K	31/4704	
A 6 1 K	31/416	
A 6 1 K	31/4192	
A 6 1 K	31/4418	
A 6 1 K	31/18	
A 6 1 K	31/167	
A 6 1 K	31/17	
A 6 1 K	31/27	
A 6 1 K	31/277	
A 6 1 K	31/165	
C 0 7 D	209/08	
C 0 7 D	209/34	
C 0 7 D	263/58	
C 0 7 D	277/68	
C 0 7 D	235/26	B
C 0 7 D	215/227	
C 0 7 D	235/10	
C 0 7 D	235/08	
C 0 7 D	231/56	Z
C 0 7 D	249/18	5 0 1
C 0 7 D	213/73	

【手続補正書】**【提出日】**平成29年8月24日(2017.8.24)**【手続補正 1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

式:

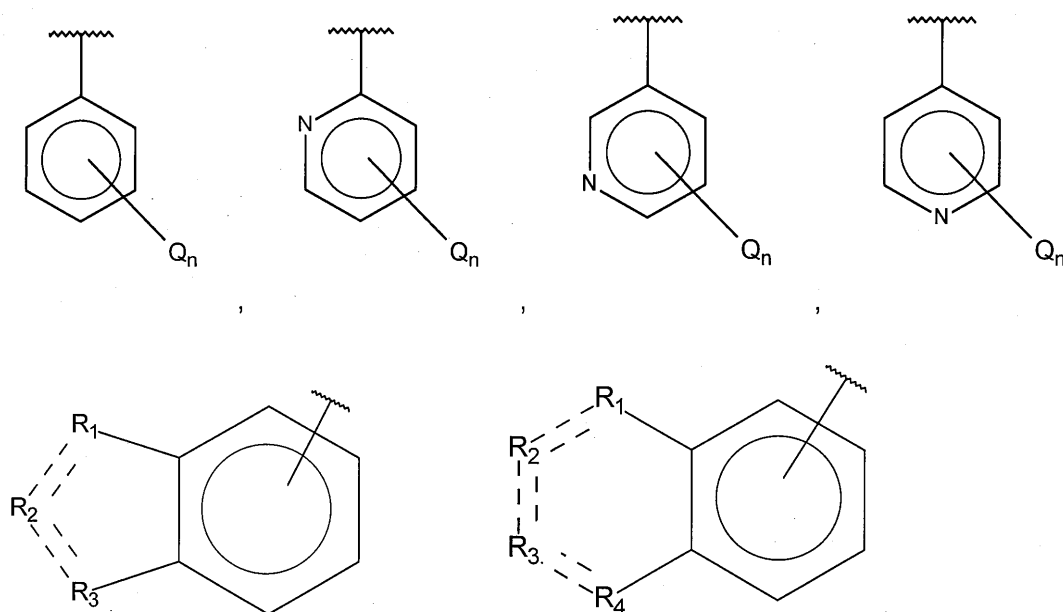
【化 1】



(式中、

Aは、下記式：

【化 2】



及び

からなる群から選択され、

Qは、ハロ、アルキル、ヒドロキシ、アミノ及び置換アミノから独立して選択され、

nは、0、1、2、3、4又は5であり、

 R_1 、 R_3 及び R_4 は、独立してC、CH、 CH_2 、O、N、NH又はSであり、 R_2 は、C、CH、 CH_2 、N、NH、 $\text{C}-\text{CF}_3$ 、 $\text{CH}-\text{CF}_3$ 又は $\text{C}=\text{O}$ であり、

nが1である場合、Qはヒドロキシであってはならない)

の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩。

【請求項 2】

QがF、Cl、Br及びIからなる群から選択されるハロである、請求項1に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩。

【請求項 3】

Qが、式： $-\text{NH}\text{W}$ の置換アミノであり、式中、Wは、 $-\text{CN}$ 、 $-\text{SO}_2(\text{X})_a\text{Y}$ 及び $-\text{CO}(\text{X})_a\text{Y}$ から選択され、

aは、0又は1であり、

Xは、-NH-及び-O-から選択され、

Yは、-H、-CH₃、-CH₂CH₃、-CH₂OH及び-CH₂CH₂OHから選択される、

請求項1に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩。

【請求項4】

Qが、-NHSO₂CH₃、-NHCOH、-NHCONHCH₃、-NHCONHCH₂CH₃、-NHSO₂NHCH₃、-NHSO₂NHCH₂CH₃、-NHCOCH₃、-NHCOOCH₃、-NHCOOCH₂CH₂OH、-NHCONH₂及び-NHCNからなる群から選択される置換アミノである、請求項1又は3に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩。

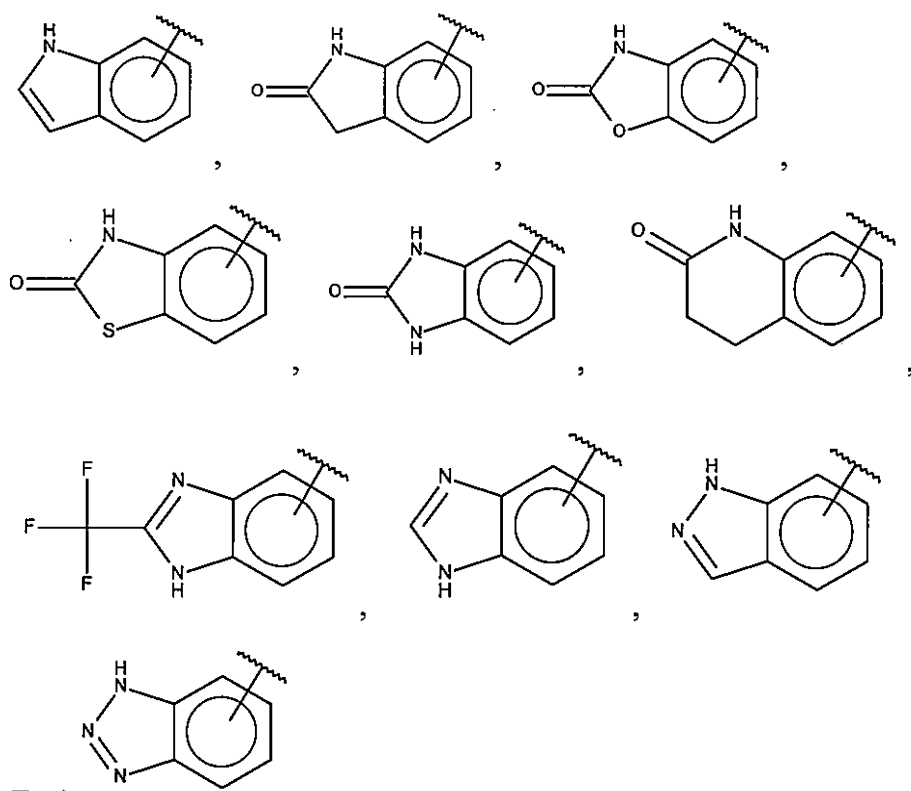
【請求項5】

Qが、メチル、エチル、プロピル、ブチル及びペンチルからなる群から選択されるアルキルである、請求項1に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩。

【請求項6】

Aが、下記式：

【化3】



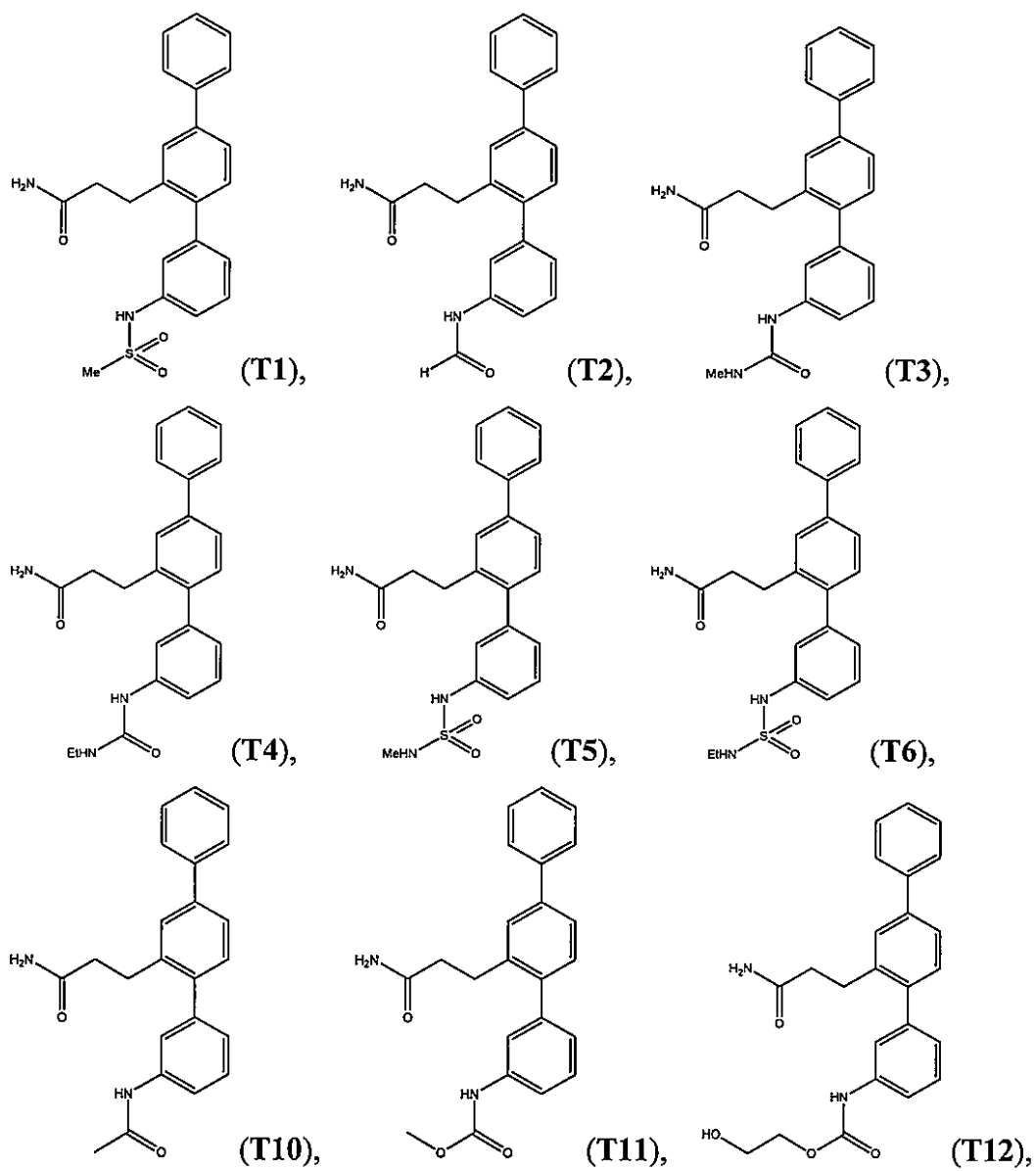
及び

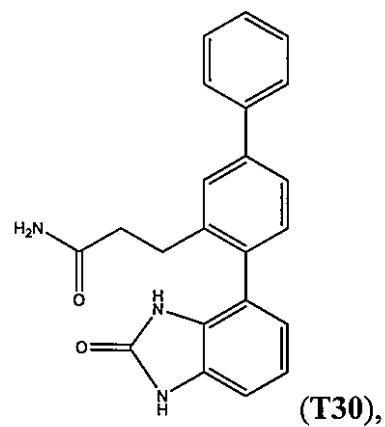
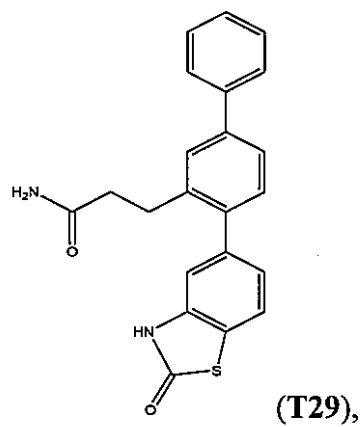
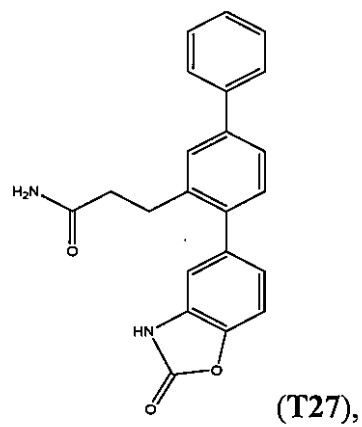
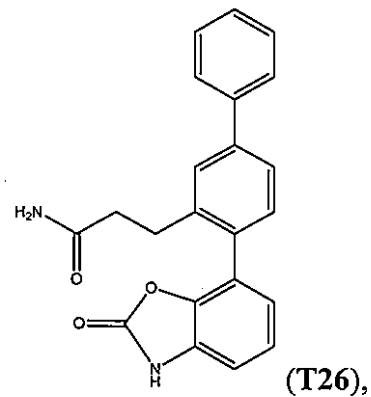
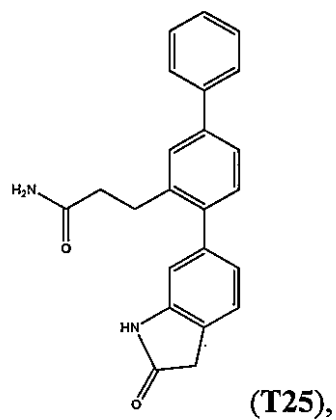
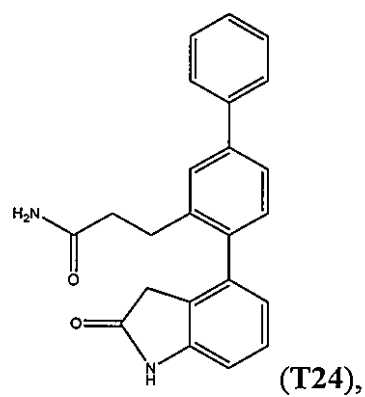
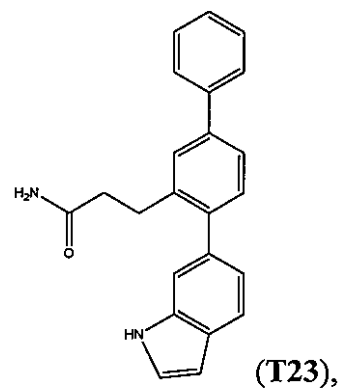
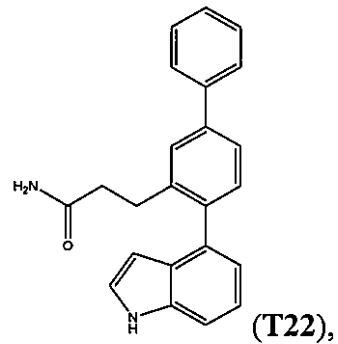
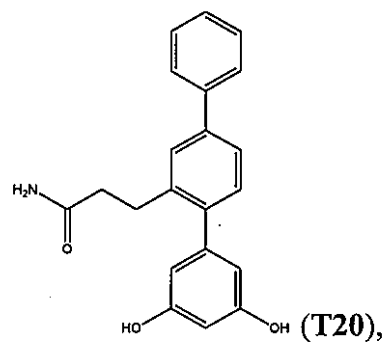
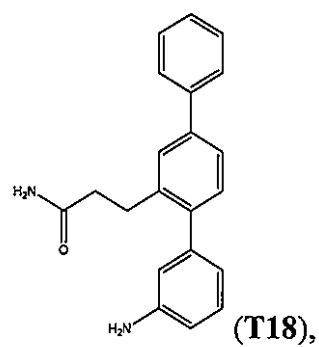
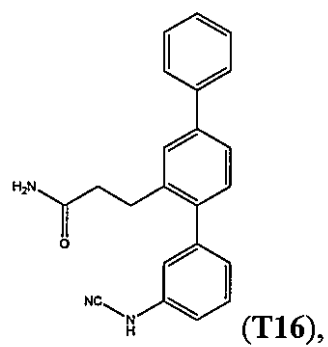
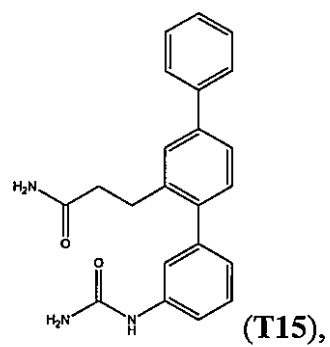
から選択される、請求項1に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩。

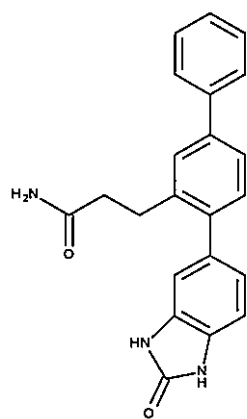
【請求項7】

化合物が、下記化合物：

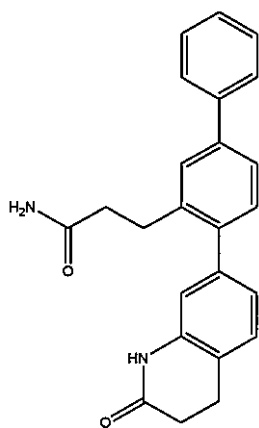
【化 4】



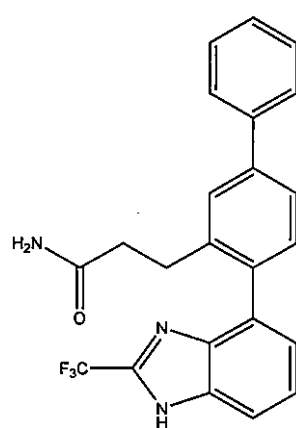




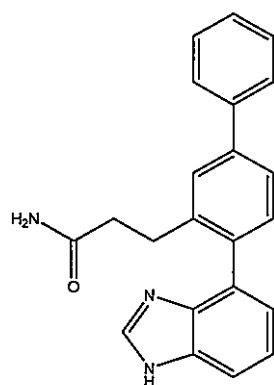
(T31),



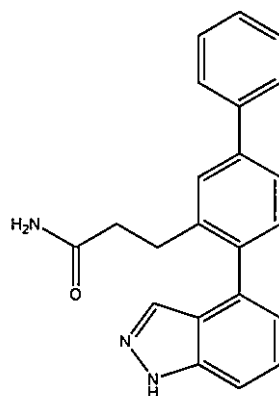
(T32),



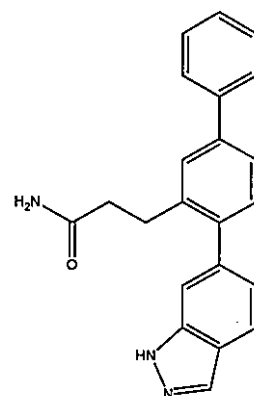
(T33),



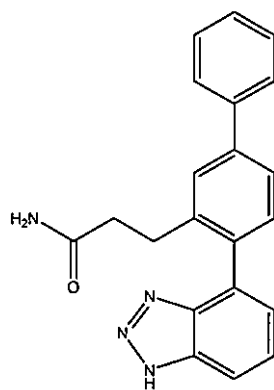
(T35),



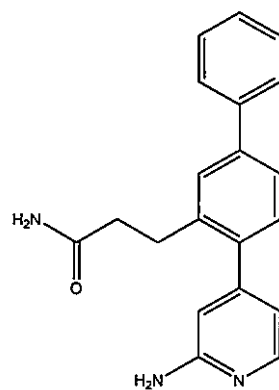
(T37),



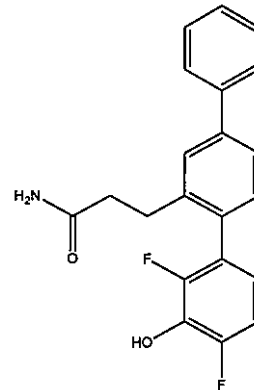
(T38),



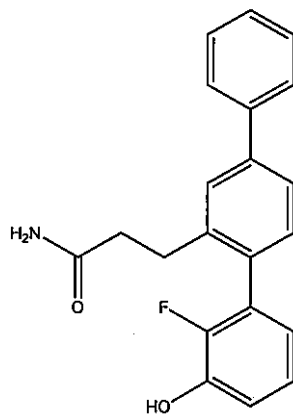
(T39),



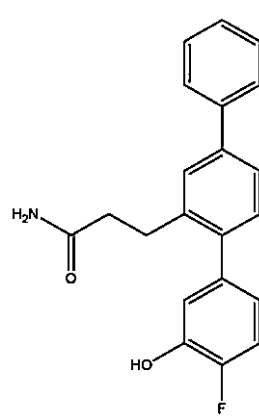
(T48),



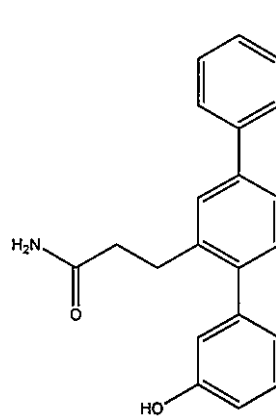
(T58),



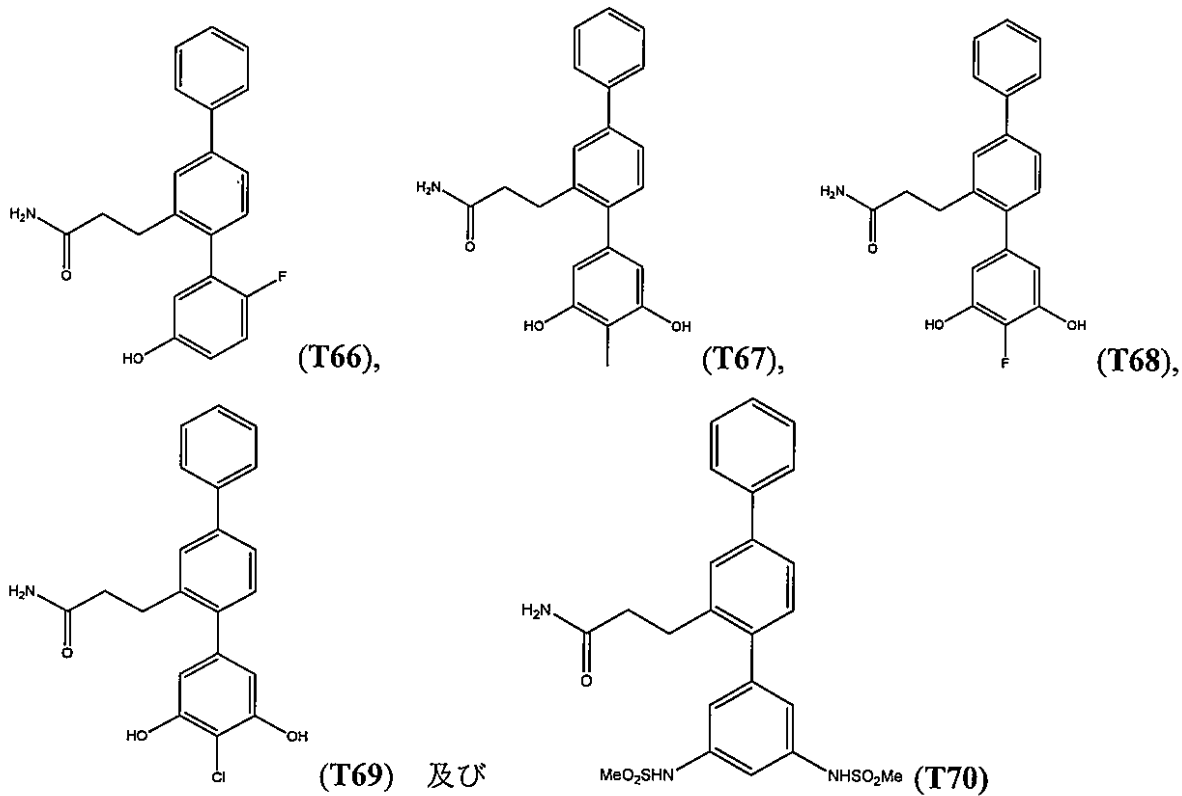
(T63),



(T64),



(T65),



からなる群から選択される、請求項1に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩。

【請求項 8】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩と、医薬として許容される賦形剤とを含む医薬組成物。

【請求項 9】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩を含む、高血圧又は高血圧前症の治療的処置のための医薬組成物。

【請求項 10】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩を含む、線維症の予防的処置のための医薬組成物。

【請求項 11】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩を含む、線維症の治療的処置のための医薬組成物。

【請求項 12】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩を含む、高血圧及び線維症の治療的処置のための医薬組成物。

【請求項 13】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩を含む、高血圧前症及び線維症の処置のための医薬組成物。

【請求項 14】

線維症が心筋線維症又は腎線維症である、請求項10～13のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

線維症が心筋線維症及び腎線維症である、請求項10～13のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

高血圧又は高血圧前症の治療的処置薬を製造するための請求項1～7のいずれか1項に記

載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩の使用。

【請求項 17】

線維症の予防的処置薬を製造するための請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩の使用。

【請求項 18】

線維症の治療的処置薬を製造するための請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩の使用。

【請求項 19】

高血圧及び線維症の治療的処置薬を製造するための請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩の使用。

【請求項 20】

高血圧前症及び線維症の治療的処置薬を製造するための請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物又はその立体異性体若しくは医薬として許容される塩の使用。